

飯伊地区 産業経済動向

No.500 2020/11
(2.12.25 発行)



IIDA SHINKIN BANK
飯田信用金庫
しんきん南信州地域研究所

http:// www. iidashinkin. co. jp
〒395-0044 飯田市本町1-2
TEL 0265-53-5811 FAX 0265-53-1132

飯伊地区主要経済指標

主 要 指 標		実 数	前 月 比	前年同月比
手 形 交 換 高 (飯田手形交換所扱)	枚 数	2,688 枚	18.9 %	9.6 %
	金 額	3,479,775 千円	8.2 %	21.7 %
う ち 不 渡 発 生 状 況	枚 数	0 枚	(前月 1 枚)	(前年同月 1 枚)
	金 額	0 千円	(前月 370 千円)	(前年同月 257 千円)
倒 産 件 数 (負債額1千万円以上)	県 内	6 件	(前月 7 件)	(前年同月 8 件)
	飯 伊	0 件	(前月 0 件)	(前年同月 2 件)
住 宅 着 工 戸 数 (飯田市、下伊那郡 総数)(10月)		87 戸	33.8 %	67.3 %
有効求人倍率(パートを含む実数) (ハローワーク飯田管内)(10月)		1.03 倍	(前月 1.04 倍)	(前年同月 1.38 倍)
自動車新規登録台数 (松本事務所管内)	新 車	2,174 台	△ 1.8 %	3.5 %
	中古車	680 台	△ 13.6 %	4.3 %
軽自動車新規登録台数 (軽自動車協会連合会長野事務所) (10月)	新 車	4,236 台	△ 13.5 %	30.0 %
	中古車	922 台	△ 7.5 %	3.6 %
中 央 道 利 用 台 数 (飯田インター分)	入	105,066 台	0.2 %	△ 13.4 %
	出	104,703 台	△ 1.3 %	△ 14.2 %
中 央 道 利 用 台 数 (松川インター分)	入	81,899 台	3.7 %	△ 9.9 %
	出	82,333 台	5.9 %	△ 7.8 %
中 央 道 利 用 台 数 (園原インター分)	入	18,673 台	△ 10.8 %	△ 10.0 %
	出	18,302 台	△ 14.0 %	△ 11.3 %
中 央 道 利 用 台 数 (飯田山本インター分)	入	47,254 台	4.1 %	△ 9.8 %
	出	48,598 台	6.7 %	△ 8.6 %
信用保証協会 新規保証件数 (飯田支店管内)		203 件	△ 4.7 %	39.0 %
信用保証協会 代位弁済件数 (飯田支店管内)		2 件	(前月 2 件)	(前年同月 7 件)
高 速 バ ス 乗 車 人 数	飯田～新宿	7,299 人	△ 0.2 %	△ 73.7 %
	飯田～名古屋	7,446 人	1.5 %	△ 59.6 %
	飯田～長野	3,782 人	△ 10.7 %	△ 57.4 %
	伊那・駒ヶ根～新宿	4,100 人	△ 14.2 %	△ 81.3 %
市内循環バス乗車人数	左回り	2,699 人	△ 18.0 %	△ 26.7 %
	右回り	2,639 人	△ 13.1 %	△ 22.2 %

◆ 本誌内容は飯田信用金庫ホームページ (http://www. iidashinkin. co. jp) に全文掲載しています ◆

本誌は、当金庫が信頼できると考えるデータに基づき作成されておりますが、データ、記述の正確性、完全性を保証するものではありません。御利用に当たってはご自身の判断によってください。

しんきんは環境にやさしい取り組みを地元のみなさまとともにしています。



再生紙を
使用しています

概 況

製 造 業

11月の製造業の業況判断指数(DI)は、マイナス7.7で、前月から6.1ポイント上昇。翌月予測もマイナス4.0で、前月から14.5ポイント上昇。

電気、精密機械器具の売上は、前月比やや増加。総じて景況感に動きは見られない。半導体、液晶製造装置向け部品の販売の前月比は、横ばい～やや増加。前年比では、やや増加との声が複数。産業機器や医療機器向け部品の販売の前月比は、業者によって増減分かれるも、減少～やや減少との声が多い。建築用金属製品の販売は、前月比、前年比とも減少との声。自動車向け部品の販売は、前月比、前年比とも減少も、景況感は概ね横ばいという。小型電磁機器の生産は、前月比概ね横ばい、景況感も大きな動きはない様子。FA関連モーターの売上は、前月比は増加、前年比ではやや減少。光景況感については大きな動きはないという。光学機器部品の販売は、前月比やや増加も、前年比は減少との声。電気、電子製品の売上は、前月比減少という。

地場産業

半生菓子、菓子原料等の売上は、前月比横ばい～やや増加。景況感は概ね横ばいとの声が多い。水引製品の受注は、一部に減少との声もあるが、「国内、海外への旅行中止による巣ごもりの影響により、年末商品の動きはどれも活発な状況」「正月飾りが例年より増加」など、やや増加との声が多く聞かれた。漬物の販売は、前月比やや減少、前年比は概ね横ばいとの声。

建 設 業

11月の建設業の景況DIは10.0で、前月から6.7ポイント低下。翌月予測DIは9.1で、前月から24.5ポイント上昇。

当地区における当月の県、市町村発注工事の入札額合計は、約11.9億円、前月比36%減少、前年比でも32%減少している(12月22日調査時点)。当月の受注残高の前月比は、業者により増減分かれるが、横ばい～増加との声は引き続き多い。

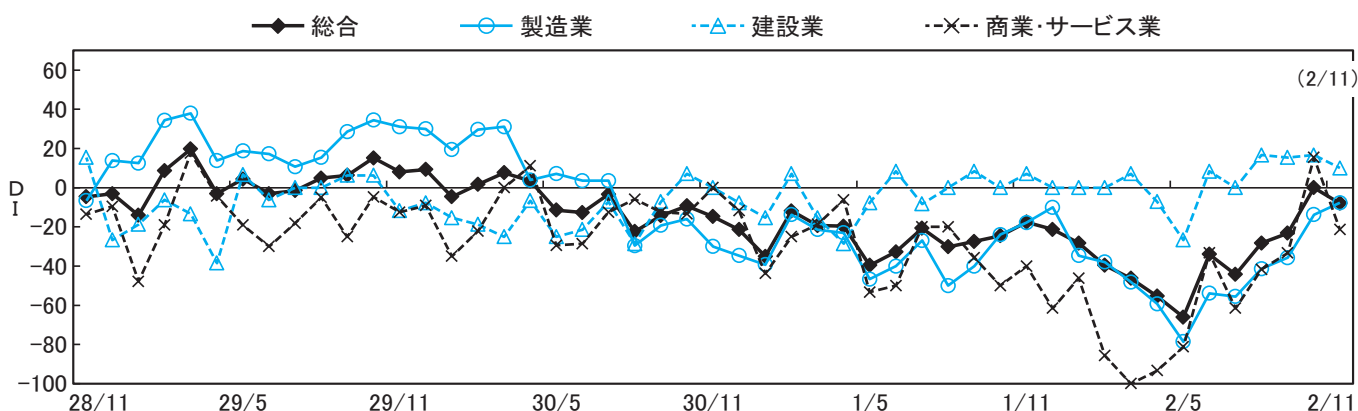
当地区の10月の住宅着工戸数は87戸。前月比34%増加、前年比でも67%増加している。当月の調査先企業の受注残高の前月比は、やや減少～横ばい。「住宅はローコスト住宅のニーズが見込まれているが、コロナの影響で注文住宅は減少」との声も。

商業・サービス業

11月の商業、サービス業の景況DIはマイナス21.4で、前月から36.8ポイント低下。翌月予測DIはマイナス50.0で、前月から7.1ポイント低下している。

食料品の売上は前月比でやや減少～横ばい。青果卸売市場の販売は、前月比減少、前年比もやや減少という。製菓、製菓用品卸の売上は、前月比やや減少、景況感は概ね横ばいとの声。家事用品の売上は、前月比やや増加、先行きは概ね横ばいを見込むという。電化製品の売上は、前月比、前年比ともやや増加との声。OA機器の売上は、前月比、前年比とも増加という。衣料品の売上は、「11月より自治体のコロナ対策商品券が始まり売上増加」など、前月比、前年比とも増加との声が寄せられた。市内料理店の売上は、前月比やや減少～横ばい、前年比では減少との声が寄せられた。忘年会に関し、「予約が少なく、毎年開催しているお客様から今年には行わないとの連絡があった」などの声。市内宿泊施設の売上は、前月比やや増加、前年比では業者により増減が分かれる。昼神温泉の売上は、前月比やや増加。前年比は、概ね横ばい～増加。「GoToキャンペーンのお陰で売上は回復」などの声が寄せられた。タクシーの売上は、前月比、前年比とも減少との声。

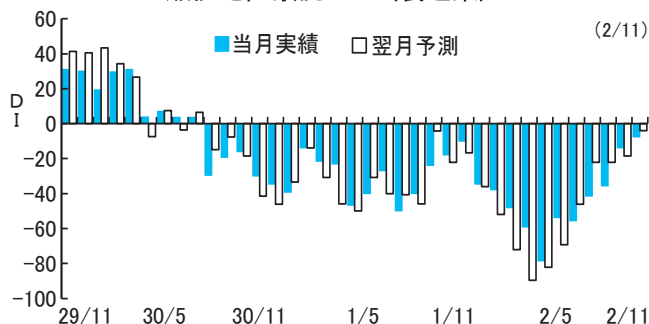
飯伊地区景況DI (本誌調査)



製造業

地区内製造業の景況判断指数

飯伊地区景況DI（製造業）



当月の製造業の業況判断指数（DI）は、マイナス7.7で、前月から6.1ポイント上昇。翌月予測もマイナス4.0で、前月から14.5ポイント上昇。

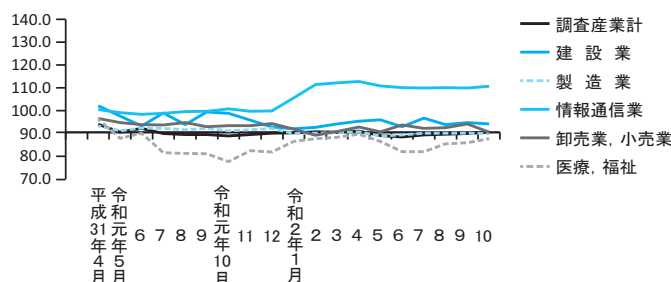
【近時の家計に関する統計】

当月は、コロナ禍が長期化する中で、半年前にも掲載した家計に関わる統計の一部を紹介する。

雇用者の収入面について、長野県の「毎月勤労統計調査」から県内労働者の賃金水準（決まって支給する給与）を見ると、10月時点では調査した産業計で前年同月比2.3%増加している。ただし内訳を見ると、情報通信業で同12.2%、医療・福祉で同17.5%それぞれ増加しているのに対し、建設業で同5.8%、製造業で同1.8%、卸・小売業で同3.8%、それぞれ減少しており、業種による違いが鮮明になっている。

長野県産業大分類別賃金指数の推移

（従業員規模30人以上 決まって支給する給与 H27=100）

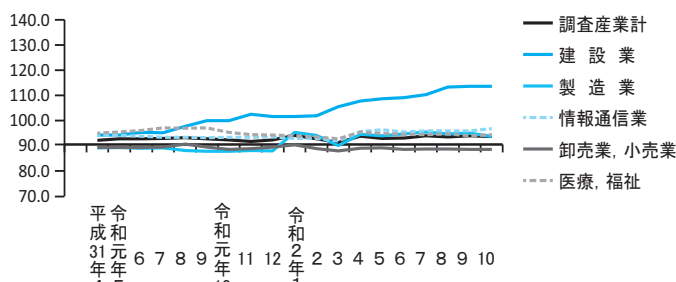


（資料：長野県毎月勤労統計調査）

次に、同調査の雇用者数（常用雇用者。パート労働者含む）を見ると、10月時点で調査した産業計で前年同月比1.7%増加している。このうち、建設業は一貫

長野県産業大分類別常用雇用者指数の推移

（従業員規模30人以上 H27=100）



（資料：長野県毎月勤労統計調査）

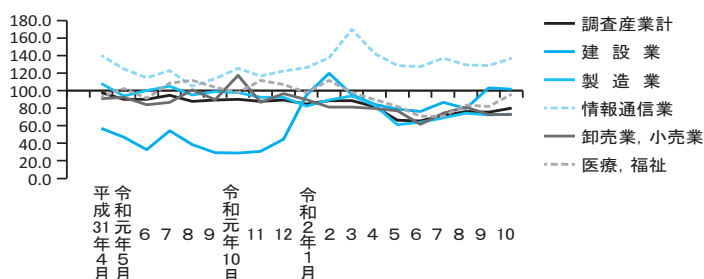
して増加傾向となっており、製造業でも前年同月比7.8%増加となっている。

続いて、同調査の所定外労働時間を見ると、こちらは10月時点の前年同月比で建設業（386.1%）が大幅に増加したのに対し、製造業で同27.8%、卸・小売業で同41.6%それぞれ減少している。

あくまで10月時点までの調査ではあるが、県内事業者は定期的な給与や雇用の削減までは至っていないものの、業種によっては所定外労働時間の短縮が進み、それが実質的な賃金に影響を与えていると推察される結果となった。

長野県産業大分類別労働時間指数の推移

（従業員規模30人以上 所定外労働時間 H27=100）

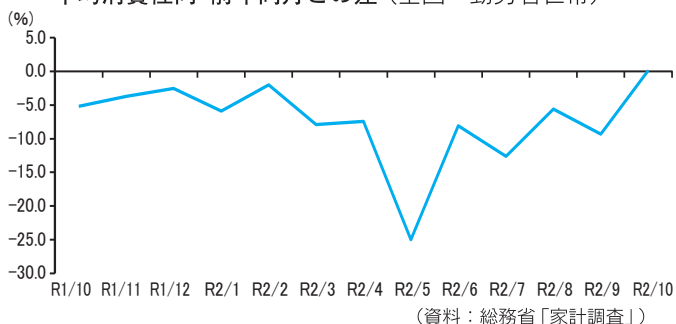


（資料：長野県毎月勤労統計調査）

一方、家計の支出面はどのように推移しているか。下のグラフは「総務省家計調査」より、全国における勤労者世帯の平均消費性向（所得に占める消費の割合）について、当月の平均消費性向と、前年同月の平均消費性向の差を示したものである。

これを見ると、今年の3月、4月から減少幅が拡大し、5月には前年同月比で25.0%も減少している。その後は徐々に減少幅を縮小し、10月には前年同月比0.1%の増加に転じている。GoTo キャンペーンをはじめとした各種景気刺激策が、家計消費の回復に一役買ったといえる結果であるが、目下のところ全国でコロナ第三波の渦中にある状況であり、今後の数値の変化も注視していきたい。

平均消費性向 前年同月との差（全国・勤労者世帯）



（資料：総務省「家計調査」）

機械加工製造業

電気、精密機械器具の売上は、前月比やや増加。総じて景況感に動きは見られない。先行きに大きな動きはない様子。こうした中、雇用面、設備面で積極的な声は聞かれない。

半導体、液晶製造装置向け部品の販売の前月比は、横ばい〜やや増加。前年比では、やや増加との声が複数寄せられた。景況感もやや改善との声が複数あり、「9月末より半導体メーカーを中心に持ち直し、その状況が続いている」「半導体関連は復調」「機種により増減あるものの、一部に持ち直し感あり。FPD関連

は調整が続く」などの声。先行きに関してもやや改善するとの声が多く聞かれ、「来年は半導体業界は持ち直す見込み」「今後復調予定」などの声が寄せられた。一方で、「取引先で好不調の差が出ている」との声も。こうした中、雇用面では「2名補充。3月に新卒者の採用を数名予定」、設備面では「コロナの動向を見極め、来期以降の投資を検討」などの声が聞かれた。

産業機器や医療機器向け部品の販売の前月比は、業者によって増減分かれるも、減少～やや減少との声が多く、「客先の生産計画が後ろ倒しになった」「産業用ロボットの回復は重い」「海外向け設備が動くまでは良くない」「仕事量に波がありすぎる。少し動いても長く続かない」「5G向け、自動車関連は少し良くなっている、飯田下伊那の加工屋までは良くならない」などの声。一部には「受注が少し回復」「医療機器関連は単発増産の動きあり」「産業用機械関連では来年1月まで増との情報あり」「コロナ禍により厳しい中ではあるが、若干明るさが見えてきた」などの声もあるが、コロナの影響による先行きの不透明感は根強く、「コロナ禍で見通しゼロ。我慢あるのみ」「コロナの終息が見えないと難しい」との声が聞かれた。

こうした中、雇用面では今後「正社員1名募集」「多少の増員予定」など積極的な声も。原材料単価に関して上昇との声が複数寄せられ、「薬品関係の値上がりが多い」「この先値上がりの気配あり」などの声が聞かれた。

建築用金属製品の販売は、前月比、前年比とも減少、受注残高も減少。「建築関係は来年秋口まで厳しい見込み」といい、景況感は悪化との声。雇用面は当面現状維持の様子。

自動車向け部品の販売は、前月比、前年比とも減少。景況感は概ね横ばいとの声。先行きも大きな動きは見込まれていないという。

小型電磁機器の生産は、前月比概ね横ばい、景況感も大きな動きはないという。先行き設備投資の計画あり、との声も。

FA関連モーターの売上は、前月比は増加、前年比ではやや減少。受注は、前月比概ね横ばいも、前年比やや減少との声。景況感に大きな動きはないものの、「コロナによる世界経済への影響が長期的に懸念される」など先行きの不透明感は続いている様子。

光学機器部品の販売は、前月比やや増加も、前年比は減少。「まだ受注量は少ない」との声が聞かれ、今後の販売も弱含みという。

電気、電子製品の売上は、前月比減少。「新型コロナの影響で、予定していた客先からの注文が大幅に減少」といい、景況感の好転には至らないとの声。

地場産業

半生菓子、菓子原料等の売上は、前月比横ばい～やや増加との声。「コロナの状況に左右されるが、外食産業や観光業に比べれば恵まれている」との声が聞かれ、景況感はおおむね横ばいとの声が多い。先行きは「12月どのくらいの注文があるか期待もあり、不安もあり」との声が聞かれ、売上が増加した業者でも年末年始にかけての不透明感が残るという。

水引製品の受注は、一部に減少との声もあるが、やや増加との声が多く聞かれた。「年末商材のお飾り、しめ縄等は天候に恵まれ、輸入・国内生産とも順調に推移している。同じ縁起物でも、熊手等は昨年の30%程度にとどまったようだ」「国内、海外への旅行中止による巣ごもりの影響により、年末商品の動きはどこも活発な状況」「正月飾りが例年より増加」「年末年始の神社、お寺での縁起物は、コロナに配慮して販売期

間を延ばすなど工夫している所が多く、期待している」などの声。一方で、今後の水引業界について「観光客向けの水引ドライブインがまた一軒閉店するとのニュースがあった。学校関係等で水引体験の要望もある中、団体で体験可能な場所がなくなり、業界としても対応に迫られている」「飯田水引は日本一の生産量を誇るが、その使用方法や役割を理解する人が減少する中では、相手に対する思いやりの文化を宣伝しなければ減少の一途を辿る。冠婚葬祭を派手にやるのではなく、心のこもった形を示せば良い」などの声が寄せられた。先行きについては概ね横ばいとの声が多く、「新型コロナの感染状況と年末の天気が気掛かり」との声が聞かれた。

漬物の販売は、前月比やや減少、前年比は概ね横ばい。「一時期に比べれば業務用や外食向けも動きが出ていたが、新型コロナの感染再拡大により、11月下旬から動きが悪くなった」との声が寄せられた。先行きに関して「例年、年末は需要期となるが、今年は予測しにくい」という。

その他製造業

食品包材の生産は、前月比概ね横ばい、先行きも大きな変動はない、との声。当月原材料、資材価格がやや上昇という。

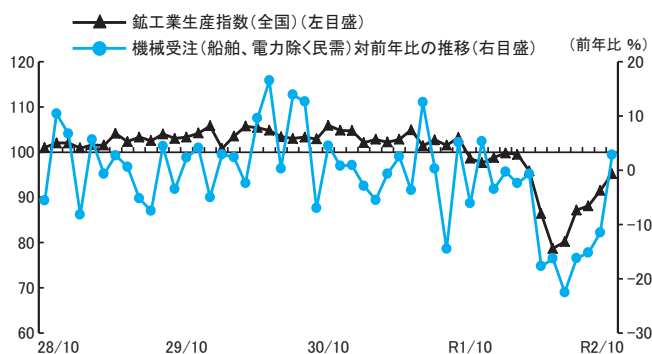
印刷、出版関連の売上は、前月比、前年比ともに減少との声。「11月のイベント関連の仕事は少ないため、前年からの落ち込み幅は少なめ」も、「今後年末年始にかけての折込チラシ減少への不安は続く」との声が寄せられた。当月原材料、資材価格に大きな動きはないが、製品単価は下降との声。

衣料品の販売は、前月比減少も、前年比は増加との声。コロナ関連需要については、「マスク関連グッズも引き続き好調に推移しているが、少し過剰気味なのが気になる」「医療用ガウン生産は備蓄生産のみで、数量も少ない」という。先行きに関し、「SPA型の春物の受注量は少し戻りつつあるが、昨年の40%程度で推移している」「短納期、小ロットのため、収益性は悪い」などの声が聞かれた。

【企業からのコメント】

- ★経済対策、コロナ対策、我々の生活対策はすべてワチンで決定。
- ★12月にかけて一時帰休を実施する。
- ★新規顧客を獲得するために、色々と検討中。
- ★来春以降は新規の話が結構来ているが、これもコロナ次第かも。
- ★企業は栄枯盛衰があるので、絶えず試行錯誤しながら前進するのみ。
- ★飯田下伊那での、今後のコロナ感染者の発生状況により、売上の的にも直接影響が出てくるだろう。

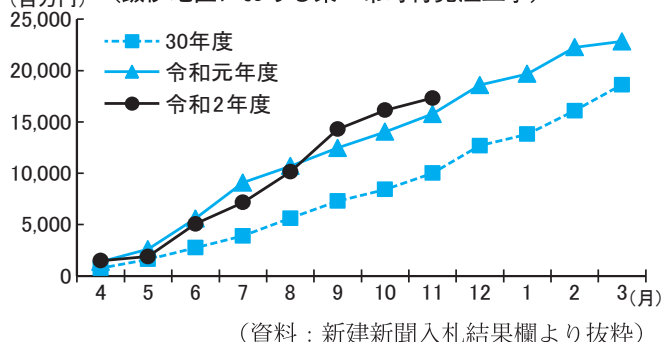
機械受注・鉱工業生産指数の推移



建設業

入札額累計の推移

(飯伊地区における県・市町村発注工事)



当月景況DI 10.0 (前月 16.7)

翌月予測DI 9.1 (前月 -15.4)

官公需

当地区における当月の県、市町村発注工事の入札額合計は、約11.9億円、前月比36%減少、前年比でも32%減少している(12月22日 調査時点)。

当月の受注残高の前月比は、業者により増減分かれるが、横ばい～増加との声は引き続き多い。

「国は三遠南信自動車道工事を中心に、堤防工事や砂防工事の発注量が多い」「7月の豪雨災害に伴う復旧工事も加わり、例年を上回る工事量となっている」「災害工事等の発注量が多い」「近隣各社とも十分な受注がある」「災害復旧工事の発注が進んでいる」などの声が聞かれた。受注残高が減少したとする業者では、「受注残高が少ない傾向が続いている。今後の通常発注の他、災害工事にも受注の機会となるよう期待」「概ね年間契約額を受注し、受注残高は前年比増加。年度末に向けて業務進捗が進み、受注残高は減少」「建設関係は良いと思うが、全体的な経済状況が良いとはいえないと推察される」などの声が聞かれた。景況感が悪化したとの声は少なかったが、概ね横ばいとの声が多い。

先行きに関しても業者によって見方が分かれ、「災害関連工事の増加で、年度末まで十分な受注がある」との声がある一方、「来年度が厳しい年になるかも」との声も聞かれた。

完工高については、前月までの旺盛な発注の影響もあり前月比増加、ないし先行き増加を見込む声が多い。

雇用面では、一部に「業務量はあるが、技術者、技能者が不足」「工事発注量に対して、労働力不足」との声が引き続きあり、今後も求人活動を継続するという。

資材面で、一部に「骨材、生コンなどが上昇」との声が聞かれた。

【建設技能労働者の需給状況】

国土交通省の建設労働需給調査では、建設技能労働者の需給状況等を職種別・地域別に毎月把握している。同調査では建設技能労働者の需給状況を、過不足率を用いて表しており、数字がプラスなら不足、マイナスなら過剰となる。10月の同調査結果によると、職種別には型わく工(建築)以外の職種で不足となっており、鉄筋工(土木)の不足率1.9%が最も大きい。また、鉄筋工(建築)の過不足率について、対前年の増加幅が大きくなっている(△2.5%→0.8%)という。全体では不足の状況は継続しているものの、不足率は前年同

月を下回っている。

職種別の過不足率の状況(全国・原数値)

	今月過不足率	前月過不足率	対前月増減	前年同月過不足率	対前年増減
型わく工(土木)	1.4%	1.3%	0.1	1.8%	△ 0.4
型わく工(建築)	△ 0.2%	1.3%	△ 1.5	2.2%	△ 2.4
左官	1.2%	0.4%	0.8	2.6%	△ 1.4
とび工	1.3%	1.2%	0.1	2.7%	△ 1.4
鉄筋工(土木)	1.9%	0.9%	1.0	2.9%	△ 1.0
鉄筋工(建築)	0.8%	△ 0.1%	0.9	△ 2.5%	3.3
6職種計	1.0%	0.9%	0.1	1.8%	△ 0.8
電工	0.7%	0.5%	0.2	1.6%	△ 0.9
配管工	1.7%	1.1%	0.6	1.8%	△ 0.1
8職種計	1.0%	0.8%	0.2	1.7%	△ 0.7

(資料：国土交通省「建設労働需給調査結果」令和2年10月)

民需

当地区の10月の住宅着工戸数は87戸。前月比34%増加、前年比でも67%増加している。

当月の調査先企業の受注残高の前月比は、やや減少～横ばいも、横ばいとの声が多い。

住宅では、「住宅はローコスト住宅のニーズが見込まれているが、コロナの影響で注文住宅は減少」「リフォーム、修繕工事のみ」などの声。

また、住宅以外の一般民間建築については、コロナの影響を指摘する声が引き続きあり、「コロナによる投資意欲の低下から、設備投資に対する抑制が強まり、工事量が減少して競争が激しい」「今後も先行き不透明感から工事量減少」「コロナの影響で民間工事の冷え込みがある」などの声が聞かれた。

建設資材

建設資材、塗料等の売上は、前月比概ね横ばいも、景況感はやや悪化、との声が寄せられた。先行きについても弱含みという。当月、仕入価格がやや上昇しており、この傾向は今後も続く見込みという。

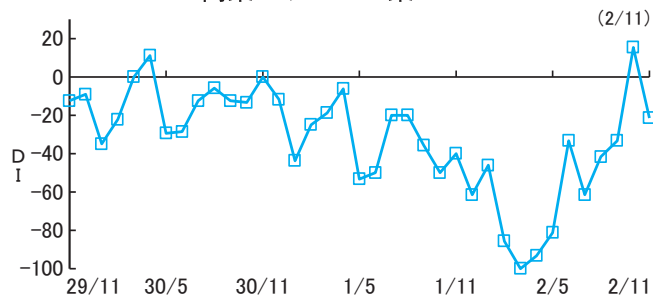
当月の生コンの売上は、前月比は業者により増減分かれるも、前年比では増加。当月の主な出荷は、「三遠南信自動車道工事、発電所工事、砂防工事、治山工事、築堤護岸工事、工場・倉庫・保育所工事に関わるもの」で、「リニア関連工事の出荷量は、当月出荷量全体の6%弱」だったという。「業界すべてではないが、忙しい工場が多くなっている」「これから災害工事が出てくる予定で、さらに忙しくなる」などの声。こうした中、「機械修理も増えている」「生コン車の運転手は依然不足」「職安へ求人を出すも、連絡なし」などの声が聞かれた。

骨材の売上は、前月比は業者により増減分かれるも、前年比は増加。一部に景況感が好転した業者も。「今月は生コン向け骨材の出荷が多かった」「生コンが動き始めた」「災害関連も加わってきて活性化している」「大手ゼネコンからリニア関連の見積もり依頼が頻繁に来る」などの声。こうした中、雇用面では今後増員を検討する声も聞かれた。

【企業からのコメント】

- ★コロナ禍の影響はかなり多方面にあると思われ、今後の景気を左右するのではと推察する。年末に向けて明るい兆しを見たい。
- ★地元業者は下請け工事ばかりとなっている。これから出てくる災害工事を元請けで取りたい。

商業・サービス業DI



当月景況DI -21.4 (先月 15.4)

翌月予測DI -50.0 (先月 -42.9)

商業

食料品の売上は前月比やや減少～横ばい。前年比で増加とする業者では、「コロナ禍の中で、昨年と比較して売上は増加傾向。ただ今後は高森の競合店開店で売上が減少予定」との声が聞かれた。景況感はやや悪化との声が多い。仕入価格について、「野菜類が好天により豊作となり、需要の減少も重なって値下がり」との声が複数寄せられた。

【青果卸売市場】

販売は、前月比は減少、前年比もやや減少という。野菜は、「天候良く全国的に豊作となり、過剰な入荷が原因でここ3年で一番の低価格となった。全体では入荷量1割増、価格2割安という結果で、野菜の安値は12月も続きそう」という。果実は、「りんごは7月の長雨で作柄悪いながら、前年比2割の入荷増。上位等級は少なく高値も、下位等級物が非常に多く、平均価格は前年比12%減。みかんは順調な入荷。干し柿の収量は前年をかなり下回る予想」という。

製菓、製菓用品卸の売上は、前月比やや減少、景況感概ね横ばいとの声。年末に向けて売上はやや増加を見込むという。

家事用品の売上は、前月比やや増加、先行きは概ね横ばいを見込むという。「コロナの影響は相変わらず続いており、今後も続く」との声が聞かれ、先行き景況感は悪化するとの声。

電化製品の売上は、前月比、前年比ともやや増加。「季節商品が好調。大型物件が減少傾向にある中、白物家電が良い」「コロナ対策として、換気機能付エアコン・空気清浄機・加湿器等の受注が多い。感染症対策補助金が購入への追い風になっている」「全国的な需要増により、商品在庫薄」などの声が寄せられた。ただ先行きに関しては慎重な見方もあり、「依然積極的な設備投資が見られない。今までと異なる需要へ移行している部分もある。今後の動向を注視していきたい」との声が聞かれた。

OA機器の売上は、前月比、前年比とも増加との声。これは「進めていたスポット案件が売上となったため」という。ただ「今後に向けて売上につながる提案ができていない。年度末の需要期に例年のような動きが期待できるのか、心配」との声が聞かれ、先行き景況感は悪化とのこと。

衣料品の売上は、前月比、前年比とも増加との声。「11月より自治体のコロナ対策商品券が始まり売上増加も、その反動や今後のコロナの感染状況の変化により楽観視はできない」との声が寄せられた。

サービス業

市内料理店の売上は、前月比やや減少～横ばい、前年比では減少。「月初は静かだったが、中旬は少人数の宴会が多かった。コロナの感染数が多くなり、後半失速」「例年なら売上が伸びる時期だが、コロナで客足は遠のいている」などの声。忘年会についても「例年の3分の1以下」「予約が少なく、毎年開催しているお客様から今年は行わないとの連絡があった」などの声が聞かれた。

市内宿泊施設の売上は、前月比やや増加、前年比では業者により増減が分かれた。「GoToトラベルをうまく取り込めた」との声の一方、「コロナ第3波の影響と自粛要請で、11月27日以後キャンセルが出始めた」との声も。

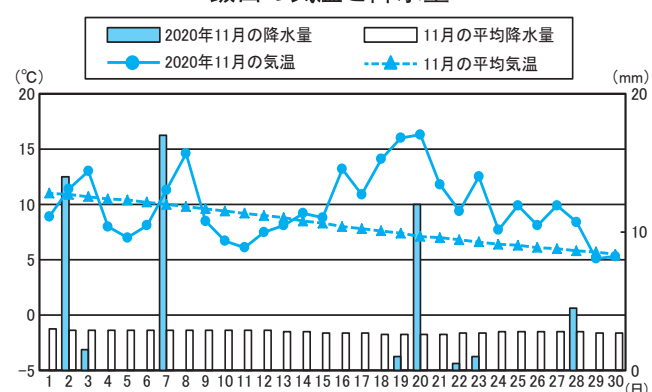
昼神温泉の売上は、前月比やや増加。前年比は、概ね横ばい～増加。「GoToトラベル、地域共通クーポン等、国の施策による観光業や飲食、土産店、地域小売業等への経済効果は大きい」「GoToキャンペーンのお陰で売上は回復」「星空ナイトツアーも多かったが、雲海ツアーは今までにない人数」等の声が聞かれた。こうした中、全国でコロナ感染者が増加している状況を受けてか、「キャンペーン頼みで、今後が課題」「12月からは大都市の自粛と規制が始まり、少しは落ち着くか」と見ている」など、先行きについては慎重な声が寄せられた。

タクシーの売上は、前月比、前年比とも減少との声。「GoToトラベルにより先月は若干改善されたが、今月はコロナ第3波とともに厳しい状況」「地元住民の行動もかなりの自粛モード、夜の街もまったく静か」との声。「雇用を守って経営を続けるには、事業規模の改善、固定費の削減も限界の中、各社とも厳しいのではないかと」の声が寄せられた。また燃料単価について「LPG 価格が若干の値上がり傾向」という。

【調査先企業の声】

- ・来年の行事の中止が決まりつつあり、このままでは春先まで厳しい状況が続くそう。
- ・with コロナではダメで、根本的にコロナに打ち勝つ良い策はないものか。年が変わってもこの感じは続きそう。
- ・県内同業にはM&Aの動きが進んでいる。長野、松本、上田に続いて伊那の業者が同グループ企業になった。
- ・都市部ほどコロナの影響は少ないものの、地元業者の倒産もあり、同業も他業種も厳しい状況。
- ・コロナによる借入返済が始まっていないので、各社とも何とか耐えているが、返済が始まると厳しいのではないかと。
- ・GoTo事業について「後で条件が変わったり追加されたりして、政府の発言に振り回されており、現場は大変」「早くもキャンセルが出始めている。東京圏内のストップが痛い」「トラベルの効果は出ているが、その分経理事務も多くなり人手不足」

飯田の気温と降水量



飯伊地区産業経済動向 500号発行記念

～ あの時、あの頃 ～

経済諸指標の推移

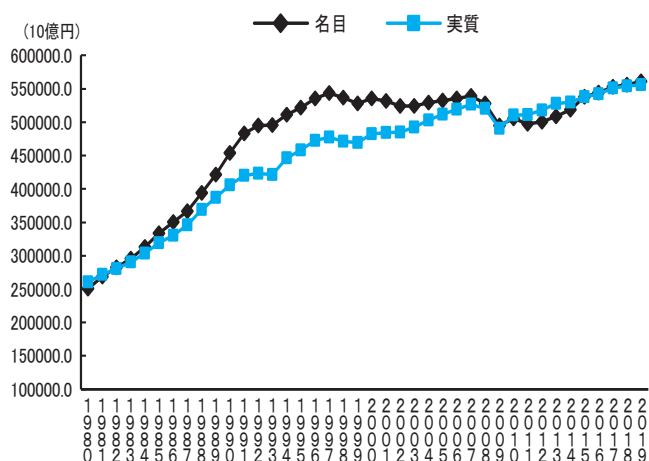


IIDA SHINKIN BANK
飯田信用金庫

飯田信用金庫
しんきん南信州地域研究所

GDP の推移

日本の GDP の推移



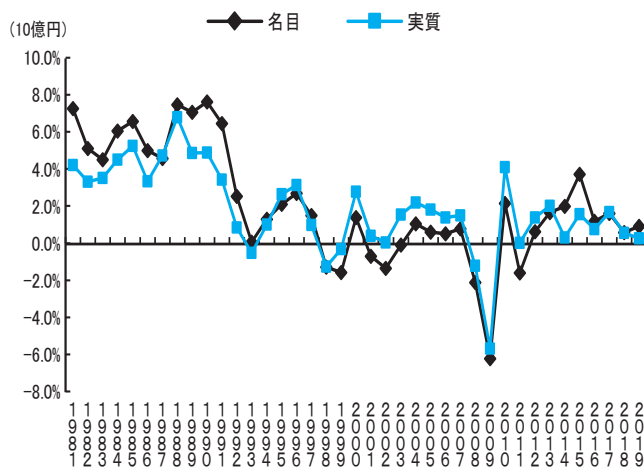
(資料：内閣府)

※平成23年基準。実質は連鎖方式。昭和55年～平成5年は平成23年基準の簡易遡及による。

令和元年の名目 GDP は561兆円、実質 GDP は556兆円だった。なお、GDP は、一定期間内に国内で生み出された付加価値の総額で、実質 GDP は、名目 GDP から物価の変動による影響を取り除いたもの。

経済成長率 (実質、名目) の推移

日本の経済成長率の推移

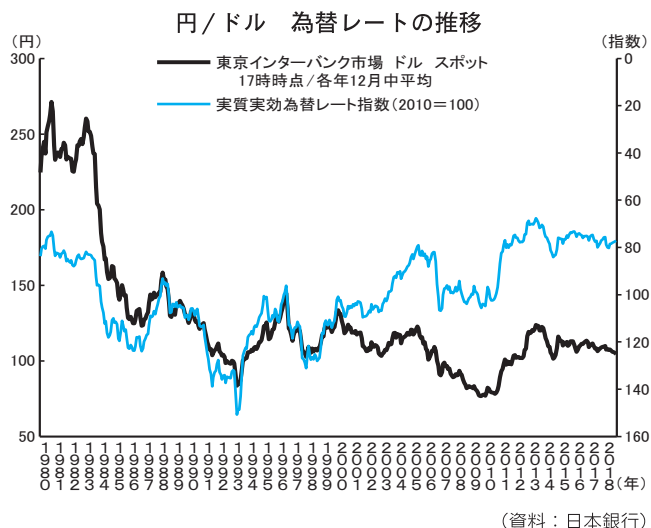


※注は右の「GDP の推移」参照

(資料：内閣府)

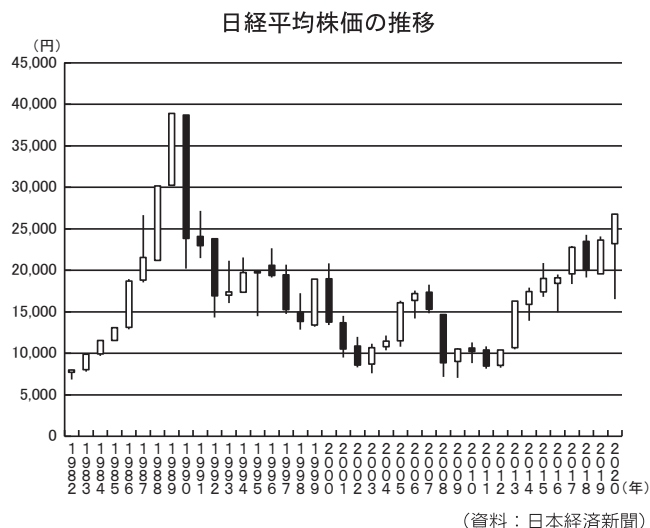
令和元年の名目 GDP 成長率はプラス0.9%、実質 GDP 成長率はプラス0.3%。本年12月18日政府経済見通しによると、令和2年度の GDP 成長率について、「感染症の影響で厳しい状況となり、4、5月を底に持ち直しの動きが続いているものの、名目 GDP 成長率はマイナス4.2%、実質 GDP 成長率はマイナス5.2%の成長が見込まれる」としている。

円／ドル相場の推移



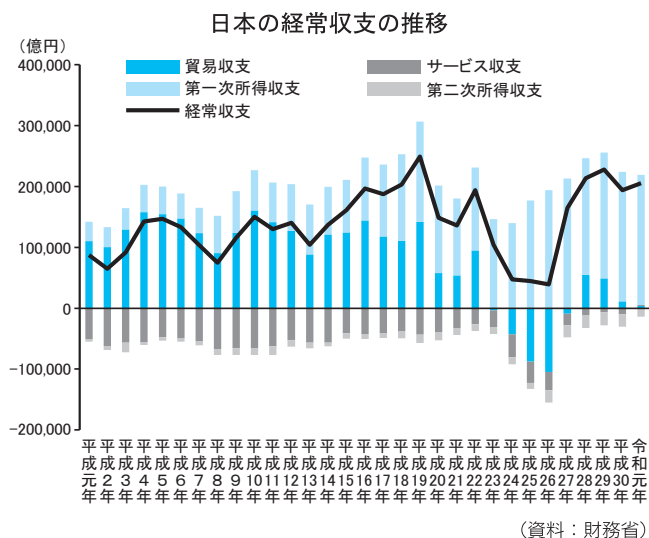
実効為替レートは、日常目にする特定の2通貨間の為替レートではなく、多くの通貨に対して円高なのか、円安なのかを示す指標で、実質の場合は物価も加味して日銀が作成している。グラフは上に行くほど円安を示す。「1985年のプラザ合意以後、対ドルの名目為替レートは円高水準だが、実効為替レートは円安で、これには日本の物価が上昇していないことも理由」とする見解もある。

日経平均株価の推移



令和2年の日経平均株価は、始値23,204.86円、高値26,809.37円、安値16,552.83円、終値26,751.24円(12/25現在 日々の終値ベース)。となっている。

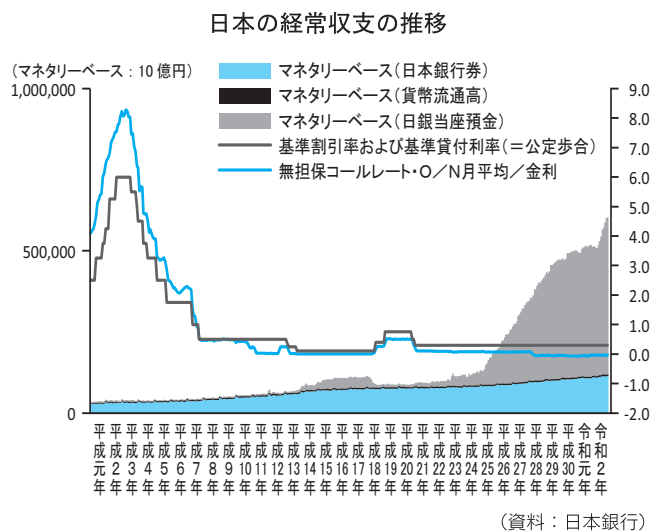
日本の経常収支の推移



注：統計の変更ににより、平成7年以後とそれより前の数値は接続しない。

経常収支は、貿易・サービス収支、第一次所得収支、第二次所得収支の合計。かつては財貨(物)の輸出入の収支を示す貿易収支の黒字が大きかったが、近時は、対外金融債権・債務から生じる利子・配当金等の収支の状況を示す第一次所得収支の黒字が大きくなっている。第二次所得収支とは、居住者而非居住者との間の対価を伴わない資産の提供に係る収支。

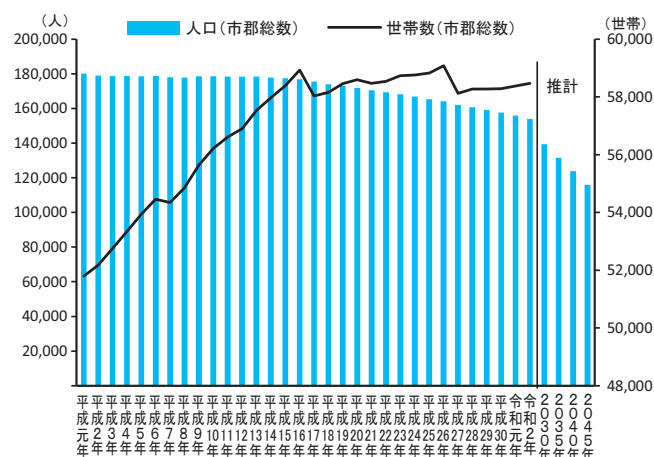
政策金利・マネタリーベースの推移



日本銀行は政策金利や資金の供給量を調整することで金融の緩和や引締めを行っている。「かつては公定歩合の変更などでこれを行っていたが、1955年から無担保コールレートの誘導で行うようになった。2013年の「量的、質的緩和」の開始により、金融市場調整の主たる操作目標が無担保コールレートからマネタリーベースに変更されている」(日本銀行「金融市場調整方針の変遷を教えてください」抜粋)

飯伊地区の人口と世帯数(市郡総数)

飯伊地区の人口と世帯数(市郡総数 各年10月1日現在及び推計)

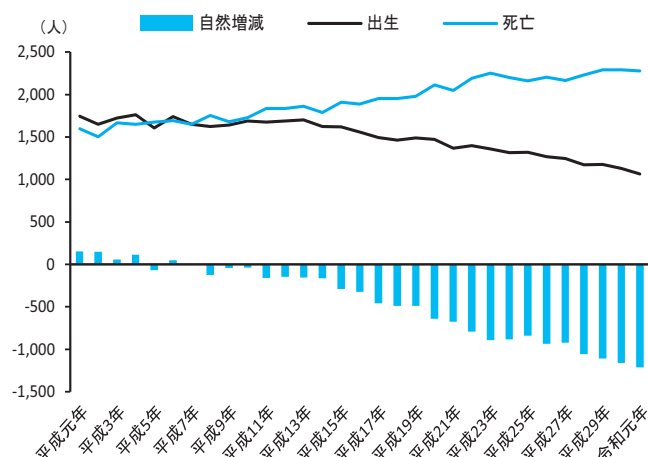


(資料：長野県毎月人口異動調査、国立社会保障・人口問題研究所日本の将来推計人口平成30年推計)

長野県毎月人口移動調査による令和2年10月1日現在の飯伊地区の世帯数は58,477世帯、人口は154,041人となっている。国立社会保障・人口問題研究所日本の将来推計人口平成30年推計によれば、2045年の飯伊地区の人口は115,972人で、令和2年10月1日現在に比べ25%の減少となっている。

飯伊地区の人口自然動態の推移

飯伊地区の人口自然動態の推移

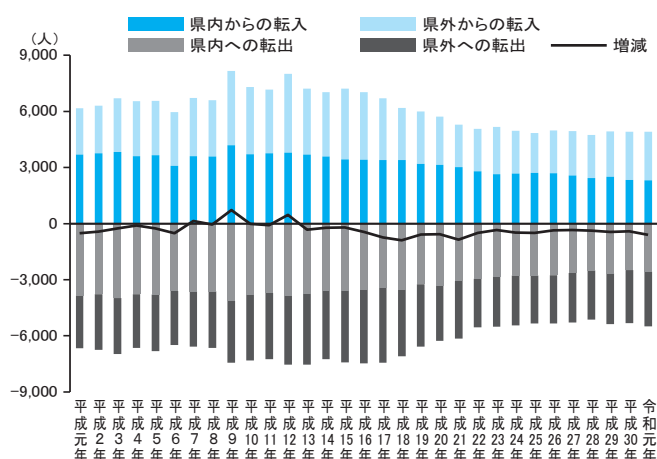


(資料：厚生労働省 人口動態調査)

令和元年の飯伊地区の人口自然動態は、出生数1,064、死亡2,280で、自然増減はマイナス1,216。自然増減は年を追うごとにマイナス幅が大きくなっている。

飯伊地区の人口転入、転出の推移

飯伊地区の人口転入、転出の推移

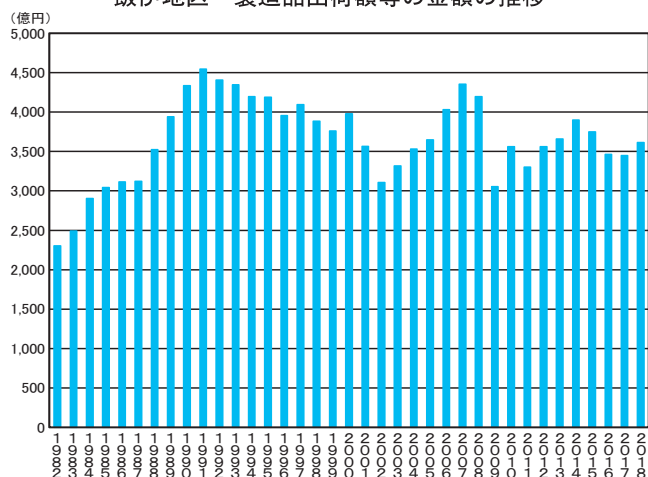


(資料：長野県「毎月人口異動調査」)

令和元年の飯伊地区の転入者数は4,904人。その内、県内からの転入者2,308人、県外からの転入者2,596人だった。一方、転出者数は5,498人。その内、県内への転出者2,577人、県外への転出者2,921人で、594人の転出超過。趨勢として転入者数、転出者数ともに減少傾向にあるように思われる。

飯伊地区の製造品出荷額等の推移

飯伊地区・製造品出荷額等の金額の推移

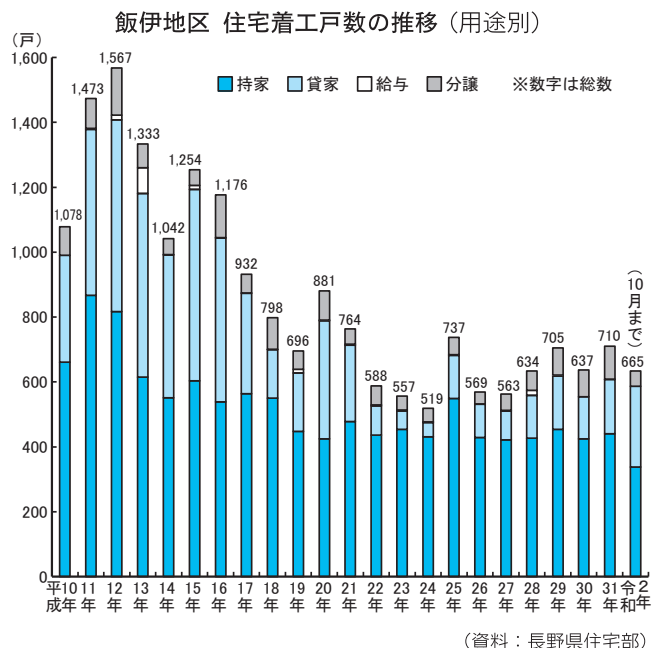


(資料：長野県 工業統計調査)

注：・平成12年以前は、全事業所計、平成13年以後は、従業員4人以上の事業所計
・平成23年と平成27年は経済センサス活動調査の数値。その他の数値は工業統計調査の数値
・平成27年については個人経営調査票による調査分を含まない
・伏字のある市町村は含まない

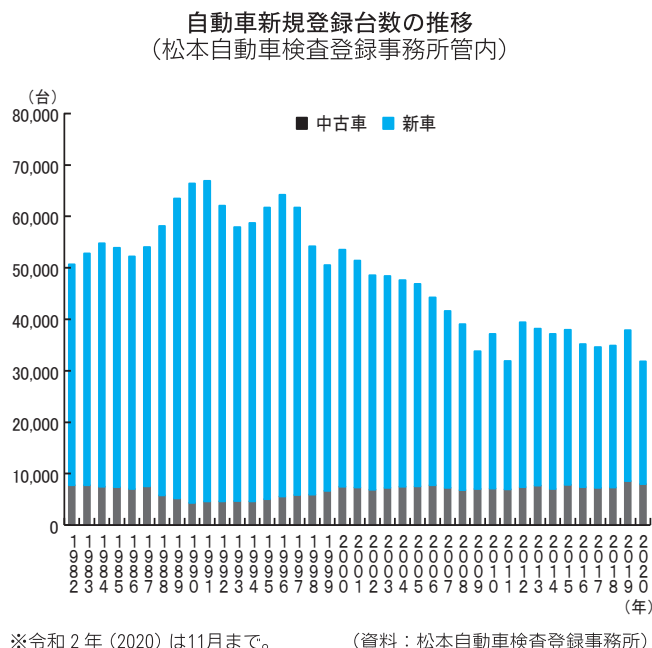
平成30年の飯伊地区の製造業出荷額等は3,614億円。前年比4.8%の増加となっていた。

飯伊地区住宅着工戸数の推移



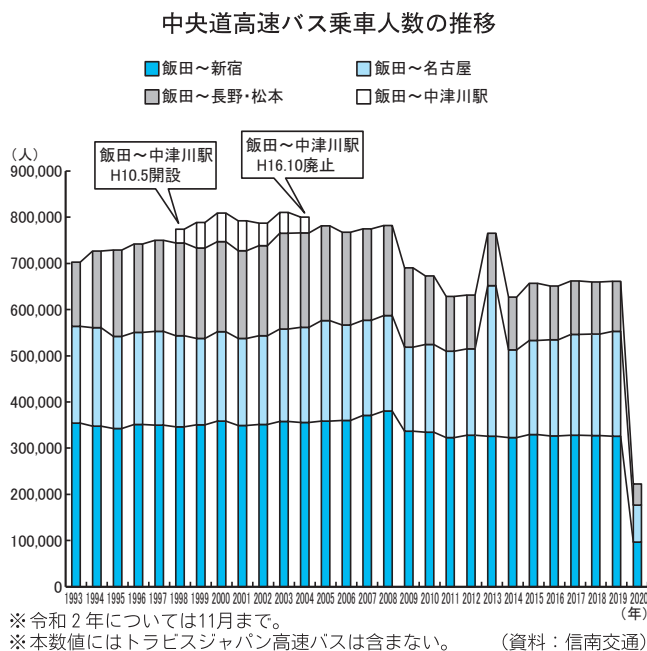
令和2年の飯伊地区住宅着工戸数の1～10月累計は、持家338戸、貸家249戸、給与31戸、分譲47戸で、計665戸。令和2年は現在のところ貸家の着工戸数が多く、前年同期比プラス22%となっている。

自動車新規登録台数の推移



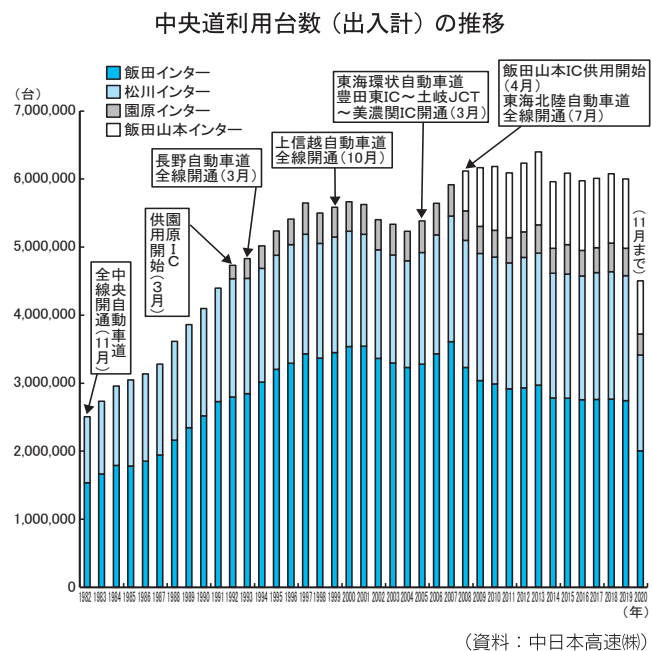
令和2年の自動車新規登録台数の1～11月累計は、新車で23,875台、前年同期比マイナス13%。中古車で7,973台、前年同期比プラス1%。令和元年は10月に消費増税があった。

中央道高速バス乗車人数の推移



令和2年の中央道高速バスの乗車人数の、1～11月累計の前年同期比は、飯田～新宿でマイナス68%、飯田～名古屋でマイナス62%、飯田～長野でマイナス54%となっている。

中央道4 IC利用台数の推移



令和2年の中央自動車道の飯伊地区4 IC利用台数の、1～11月累計の前年同期比は、飯田ICでマイナス20%、松川ICでマイナス18%、園原ICでマイナス18%、飯田山本ICでマイナス17%となっている。

リニア沿線紀行

道志みち 山梨・神奈川県境の現状

神奈川県から山梨県^{どうし}道志村へ向かう国道413号は「道志みち」と呼ばれ、ドライブ・ツーリングコースとして親しまれています。今回はこの道志みちに行ってきました。

中央自動車道川口湖線都留 I Cから県道24号都留道志線を行き、峠を越えると道志村に入ります。相模川支流の道志川に沿って国道413号が走り、国道沿いに集落が点在しています。道志川沿いにはあちらこちらにキャンプ場があり、神奈川県など関東圏からのレジャー・行楽地であることが判ります。この日は平日にも拘わらず、自動車、バイクが多数行き交っていました。

■大洞口非常口の現状は

国道413号は間もなく県境を越え、神奈川県の相模原市（緑区）に入ります。途中、413号から分かれて中央自動車道相模湖 I C方面へ向かう県道76号を行くと、峠の手前の県道沿いにリニア中央新幹線藤野トンネル大洞非常口の作業ヤードが見えます。ヤードの造成がほぼ終わり、ボーリング作業と見られる作業員が働いていました。

この辺りの非常口工事の状況をみると、長野県内の方が工事が進んでいる印象でした。

■関東車両基地予定地を訪ねる

道志みちに帰り先へと進むと、途中宮ヶ瀬ダム湖方面へ向かう県道64号に入ることができます。緩い峠道を下ると間もなく、リニア関東車両基地が置かれる相模原市緑区鳥屋地区になります。

車両基地は、山の上の方を崩して平らにしたところに造るのが訪問前のイメージでしたが、予定地に立って図面と照らし合わせると、峠道を下りた比較的平坦なところで学校、民家に近く、移転する家屋が何軒あることが判りました。

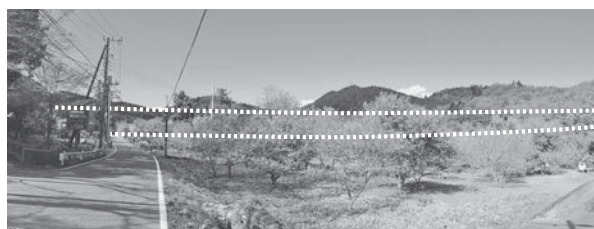
地元の方によると、現在予定地においてボーリング調査が進められているとのこと。



国道413号「道志みち」

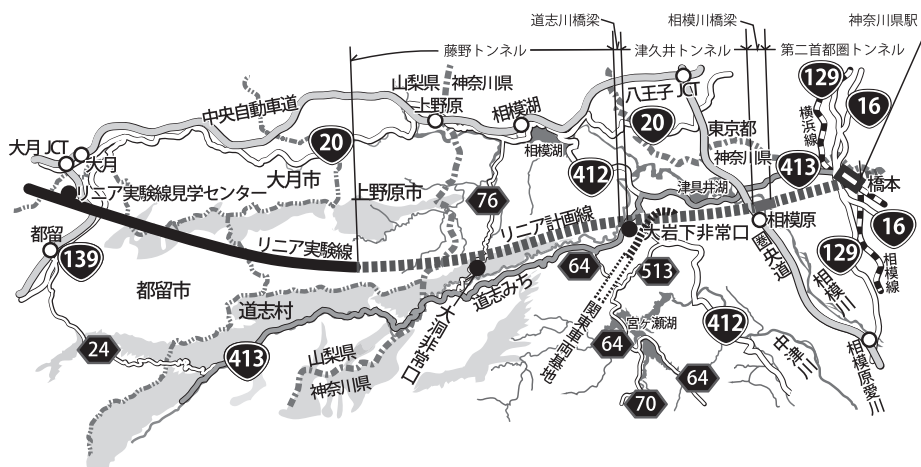


大洞非常口作業ヤード（相模原市緑区）



関東車両基地予定地を望む（相模原市緑区鳥屋地区）
破線は車両基地のおおよその位置

山梨県・神奈川県境 概略図



（飯田信用金庫 しんきん南信州地域研究所 リニア・三遠南信対策室 加藤 修平）

三遠南信地域交流たずねある記（５）

三遠南信地域 路線バス乗り継ぎの旅（１）

～ 飯田駅から浜松駅へ(1)・難関の兵越峠を越える～

愛知大学三遠南信地域研究センター発行『図説・三遠南信のすがた』に「交通インフラ」として「バス路線」（34頁）があり、3地域内の現状が図示されている。これを見て、三遠南信地域を、路線バスを乗り継いで巡ることを思い立った。

■ やり方はあの番組の通りに

路線バスといえば、テレビ東京の人気番組「ローカル路線バス乗り継ぎの旅」（以下「テレ東番組」）がある。これに倣うこととした。巡るポイントは飯田駅、浜松駅、豊橋駅としてトライアングルに回る。番組ルールの、

・鉄道、高速バス、自転車、ヒッチハイク利用は禁止に従うこととした。



「峠の綱引き」の市道兵越線兵越峠

■ 飯田駅から遠山郷かぐらの湯へ

飯田駅から国道152号、遠山郷を経由して水窪を目指す。早朝に遠山郷へ向かいたいが、**広域バス遠山郷線**は遠山地区高校生の通学支援を目的としていて、平日の午前中に遠山郷行きは出していないことが判明。土日には観光用に**飯田駅前**9時30分発がある。旅の決行は日曜日と決まった。残念ながら同行するマドンナ（テレ東番組で同行するゲスト出演者のこと、毎回交替）はおらず、一人旅となる。

飯田駅前から定刻に出発。下農入り口、OIDE長姫高校前、市立病院、弁天、富田辻、氏乗、矢筈トンネル、上村上町、南信濃木沢などを経て南信濃**かぐらの湯**へと向かった。**信南交通**が運行する大型バスに乗車したのは最初から最後まで私一人。「遠山郷行きですが良いですか」と最初に聞かれた。「時々**循環線**と乗り間違える人がいて大騒ぎになるから」。「土日の**遠山郷線**の利用は、かぐらの湯の温泉が出なくなってからガタッと減った。以前は小グループでの利用があったりしたが、この頃は空気だけ載せる日が多い」、「大型バスで運行しているのは、平日の朝晩は遠山郷からの高校生の通学利用でほぼ満員になるため。土日の一般客利用がこれほど少ないと、運行は厳しい」との話を聞いた。このような有り様で運行経費が賄えるか、バス会社の持ち出しにならないかと心配する。コロナ禍など昨今の厳しい状況の下で今後がどうなるかとも考えさせられた。一方で、「青崩トンネルが開けば、将来浜松へと繋がるバス路線が運行できるようになるのでは」と期待しているという。



広域バス遠山郷線
飯田駅前～かぐらの湯 700円

矢筈トンネルから先は改良された国道152号を走るが、木沢の先の熊野大橋のところから旧道に入り小道木地区を通る。この先の**大島集落**のバス停などに停車するためだ。久しぶりに改良前の和田へ行く旧国道を通った。途中「あれが青崩トンネル工事で出るズリ（発生土）置き場」と運転手が案内してくれた。一部は青崩トンネルへの接続道路工事で再利用の予定があるという。



青崩トンネル発生土置き場（南信濃小道木）

■かぐらの湯から八重河内此田地区まで

終点かぐらの湯に予定の11時00分をやや遅れて着。ここから八重河内へ向けて**乗合タクシー八重河内線**があるが、困ったことが判明した。**八重河内線**の運行は平日のみ。乗合タクシーを利用したければ平日に行く必要があるが、平日には午前中の**広域バス遠山郷行き**はない。乗合タクシーを土日にも、と思うが、私のような気まぐれな旅人は対象外なのだ。



乗合タクシー八重河内線
かぐらの湯～柿平 300円
（当日、乗合タクシーは利用できず）

テレ東番組ルールだと、かぐらの湯から水窪まで徒歩となるが、とても今日中に浜松に着けない。**かぐらの湯から平岡まで**

乗合タクシー平岡線があり、路線バスのように定時運行されていて予約申込不要（一部停留所は要予約）という。これを利用して平岡－水窪間をＪＲ飯田線となると番組ルールに反してしまう。本レポートの趣旨は「地域交通の実情を見聞する」ことなので、運行を担当している**遠山タクシー**にタクシー料金で**八重河内線**の最終停留所まで行って貰うこととした。

乗合タクシーは、ワゴン車タイプ。八重河内此田地区や本村地区の小中学生のスクールバス代替や同地区の高齢者を和田のデイサービス施設へ送迎するための利用が多いそうだが、「本村地区、此田地区とも小中学生が減っており、その子達が中学を卒業してしまうとスクールバス利用は無くなってしまいます。**八重河内線**がどうなるか判らなくなる」、「デイサービス利用は、このごろ利用が減ってきて乗合タクシーの利用も落ち込んでいる」と実情を説明してくれた。

八重河内線のいちばん奥の**柿平停留所**へ10分ほどで到着。特にバス停を示す表示はなく、ここで降車して峠へと向かった。幻の国道を辿って青崩峠を直登するルートは歩いたことはなく、**柿平**まで来ているので、このまま車で何回か通ったことのある市道兵越線を「峠の綱引き」の兵越峠を経て**水窪町**を目指すこととした。

この日のこの時間帯の市道兵越線は、浜松側から信州を目指す車両台数のほうが多く、自動車台数よりバイクの台数のほうが多い印象だった。



青崩トンネル本抗工事現場
（浜松市水窪池島地区）

■水窪町バス停を目指す

果たして峠道を歩いて水窪発のバス発車時刻までにたどり着けるか。結果から言うと間に合った。柿平から峠まで1時間10分、峠から草木トンネルまで50分、草木トンネルから水窪町まで2時間と、丁度4時間で歩き通すことができ、15時53分水窪町発のバスに30分ほどの余裕で到着したが、誰にもお勧めできるものではない。現実的にはかぐらの湯から乗合タクシー平岡線で平岡まで行ってJ R飯田線で水窪へということになるだろう。

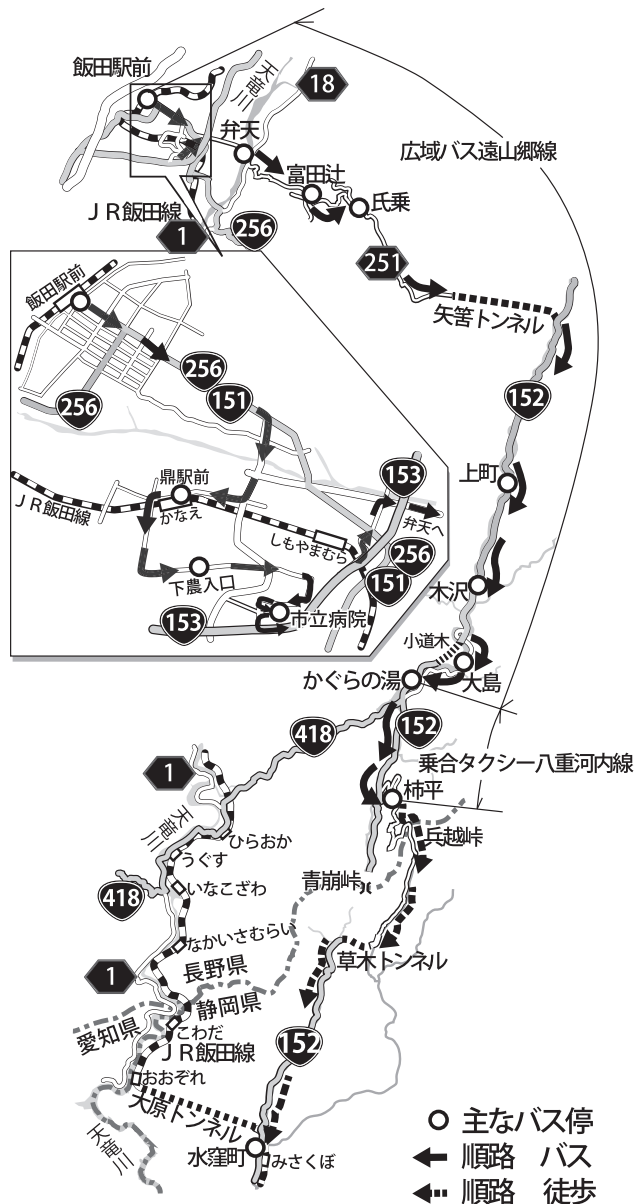
途中、三遠南信自動車道青崩トンネル本坑の工事現場を横に見て通過。三遠南信自動車道は、青崩トンネルから水窪北IC（仮称）間は「現道活用区間」とされており、国道152号のあちらこちらに工事現場ができています。

現状、草木トンネルから水窪町にかけての道路は、一部に避け合いもできない幅員の箇所があるが、間もなく遠山地区のような線形の整った道路になるものと思われる。



三遠南信自動車道の「現道活用区間」として改良工事が進められる国道152号（浜松市水窪池島地区）

三遠南信地域路線バス乗り継ぎの旅 概略図
飯田駅前～水窪町



路線バス時刻表

広域バス遠山郷線
飯田 → 和田

	平日			土日祝日	
飯田駅前	13:30	16:35	18:30	9:30	18:00
：					
鼎駅前	13:37	16:42	18:37	9:37	18:07
：					
下農入り口	13:40	16:45	18:40	9:40	18:10
OIDE長蛇高校前	13:41	16:46	18:41	9:41	18:11
：					
市立病院	13:45	16:50	18:45	9:45	18:15
：					
弁天	13:54	16:59	18:54	9:54	18:24
：					
富田辻	14:00	17:05	19:00	10:00	18:30
：					
氏乗	14:07	17:12	19:07	10:07	18:37
：					
程野	14:26	17:31	19:26	10:26	18:56
：					
上町	14:37	17:42	19:37	10:37	19:07
：					
上島	14:44	17:49	19:44	10:44	19:14
：					
木沢	14:44	17:49	19:44	10:44	19:14
：					
小道木	14:46	17:51	19:46	10:46	19:16
：					
大島	14:50	17:55	19:50	10:50	19:20
：					
和田	14:57	18:02	19:57	10:57	19:27
：					
かぐらの湯	15:00			11:00	19:30

乗合タクシー八重河内線
和田 → 八重河内

	平日		
老人福祉センター		14:15	
かぐらの湯			
郵便局前			
地蔵センター			
中学校前	11:15	14:15	16:00
上新町			
和田			
本町			
下本町			
十原			
下市場			
白岩			
梅平			
おんだし			
八重河内			
田島橋			
北沢	11:40	14:40	16:25
西山			
番屋			
民宿この田			
此田本村口			
此田本村下			
此田本村中			
此田本村上			
宮の平			
此田集会所			
柿平			

（飯田信用金庫 しんきん南信州地域研究所 リニア・三遠南信対策室 加藤 修平）